

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 グローバルビジネス
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Haas school of business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月17日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(米 国ドル)	円	備考
授業料	\$6,840	810,280 円	\$570(1単位につき)×12
宿舍費	\$4,980	631,105 円	ダブルルーム+120食付き
食費		円	宿泊費と雑費に含む
図書費		円	寮のコピー機で無償で印刷したため、0円。
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費		15,000 円	三か月分
現地交通費		0 円	バスが無料で使えた。(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
被服費		0 円	
医療費		0 円	
保険費		30,660 円	形態:海外旅行保険(明治大学指定)
渡航旅費		269,960 円	JAL のエコミークラス
ビザ申請費		66,744 円	ビザ取得費+サービス登録料も込み
雑費		235,316 円	観光代や外食代なども含まれている
その他		30,000 円	PCR 検査+陰性証明書(往復分)
その他		87,695 円	授業などの登録費
合計		2,162,718 円	トップユニバーシティ奨学金により 90 万までは免除

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田国際空港 目的地:サンフランシスコ国際空港(SFO) 経由地:× 復路 出発地:ロサンゼルス国際空港(LAX) 目的地:成田国際空港 経由地:×
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:280,000 円
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(JAL の店舗で予約・購入)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House(I-House)) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
先輩方の報告書から情報集め、詳細は、ホームページを参照した。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
まず、食事はピュッフェ形式で、好きな量だけ食べることが出来ます。種類とバリエーションが豊富で、飽きることなく三か月間過ごすことが出来ました。寮内での食事が一番健康的だと、個人的には思いました。部屋に関してですが、机やベットなど生活に必要な最低限なものは用意してありました。しかし、枕や布団は用意されていないので、到着後すぐに、IKEA にて調達しました。自分は、2人部屋を選択しましたが、ストレスなく充実した3か月間を過ごすことが出来ました。シャワーやトイレも綺麗に保たれていて(清掃員の方が毎日清掃してくれています)、心配なく使えると思います。また、寮内の治安は凄くよく、モノが盗まれたという話は一回も聞かなかったです。寮内に暮らしている人は、比較的裕福な方が多いため、そのようなことが起きないのだと、現地生から聞きました。一点だけ、留意すべき点は、夏の期間の留学になるため、日本人が寮内に多くいるということです(明治生は全員この寮に滞在していました)。留学の目的は人それぞれですが、様々な人と関わりたいと思う方は、一つの集団に固まらず、様々な人に話しかけることが大切だと思います。これらの点を総じて考慮して、I-House は、素晴らしい滞在先の一つだと思います。他にも、Unit1や The berk(食事なし)などの寮もあります。アパートを借りるという選択肢もありますが、食事を自身で用意する必要があるため、勉強に集中したい人は、食事を提供している滞在先を選ぶことをお勧めします。ぜひ、寮選びの参考にしてみてください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所:)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
LINE で外務省の情報提供アカウントを登録し、情報を受け取っていました。また、キャンパス周辺の情報に関しては、大学からもらったメールアドレスに常に情報が送られてくるようになっていました。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
プリペイドカードを事前に調達しました。Jethro mobile という会社を選びました。一ヶ月おきに更新できるため、お勧めです。Wifi に関しては、寮内、校内は、問題なく使えました。また、アメリカは日本と比べ、無料 Wifi が多いと感じました。Disney などのテーマパークには基本インターネットが使えるようになっています。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
限度額の関係でカードが使えなくなるのを避けるため、クレジットカードとデビットカードを含めて、4つ持って行きました。実際は、カードが止められることもなく、二つほどで十分だと感じました。しかし、場所によっては、カードとカードリーダーの相性が悪く、使えないことがあったりしました。そのため、2種類以上のカードを持っていくことをお勧めします。
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。
基本なんでも揃いますが、さとうのごはんやインスタントの味噌汁などを持っていくといいかと思います。また、シャワーに入る際に、水泳選手がよく使うスウィムタオルはとても重宝しました(すぐ乾き、洗濯の必要がないため)。あとは、日本製の爪切りを持っていくことをお勧めします。最後は、日本でしか買えないお土産を持って、クラスメイトなどに渡すと一気に距離が縮まります。キットカットの抹茶味は、外国人の人か非常に人気で、特にお勧めです。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
授業料は、家族のクレジットカードで一括支払いをしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Negotiation and Conflict Resolution	交渉と対立解決
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	sessionA(5/23~7/1)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(アクティブ)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Cort Worthington
授業内容	ビジネス場面から日常生活までに起こる交渉の事例を使い、様々な交渉を行う。この授業の目的は、交渉のノウハウを身に付けることだけでなく、自分自身の交渉スタイルを確立させることである。事前に予習のスケジュールが配布され、基本的な理論などは自身の力で頭に入れ、その理論にまつわる交渉の事例が扱われる。授業の最後には、教授からのフィードバックや概念の解説があり、包括的に交渉の術を学ぶことができる内容となっている。
試験・課題など	試験は、中間と期末、2 回行われる。期末の 1 週間前には、グループプレゼンがある。課題に関しては、授業終了後に、Word1 枚程度のエッセイが出された。
感想を自由記入	この授業は、日本では受けた事のない新感覚の授業であった。日本では、理論ベースで授業が展開されていくが、この授業は、実践を先に行い、その後に理論を落とし込むという形式であった。そのため、これまでの授業より、授業内容が断然、腑に落ちやすいと感じた。実践の交渉では、一回ごとにペアが変わるため、様々な背景の人と関わり、交渉することが可能である。授業の終盤には、全員と仲良くなり、非常に充実した授業であった。しかし、予習の量が非常に多いことと、自分から積極的に話しかけることが求められることに留意すべきだ。予習の量は、1 か月間で本 4 冊であったため、非常に大変だった。しかし、授業の中盤から、範囲の隅々まで目を通すのではなく、大事な箇所だけ内容を抑えるようにしたら、いくらかマシになった。英語力に関しては、自分の言いたいことをたとえどしくても発言出来れば、平気であるが、積極的に話しかけることが一番重要である。教授も、留学生に対して、非常に理解があり、決して見下したりしない。ビジネスに興味がない人でも、この授業を履修することを強く、お勧めする。今まで受けた中で一番学びが多く、面白い授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leading People	
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	経営者が組織を牽引するにあたって、考慮されるべき必要事項を、事前リーディング、授業内ディスカッション、そして教授の解説を通して包括的に学ぶ。扱われる内容は、従業員のモチベーション、コミュニケーション、社会構造、企業文化、文化の差異などと、多岐に渡る。期間中に2回ほど、実際に組織を牽引している経営者をゲストスピーカーとして招き、様々な知見を得ることができる。
試験・課題など	試験は、中間と期末の 2 回行われた。また、教授からグループがアサインされ、そのメンバーと企業にインタビューをし、その内容のプレゼンを行った。資料を読んで、用意されている質問に対して答える課題も出された。
感想を自由記入	この授業は、教授の講義とディスカッションを基に展開されていく。教授がただ授業を行うのではなく、生徒の意見を求めたり、教授自身の経験を交えたり、さらには、関連の映画を観たりして、一度も飽きの来ない授業であった。また、Brady教授は、多様性を受け入れられる広い心の持ち主で、留学生に対して、敬意を払っている。実際に、授業内容の質問をしにいった際に、「日本語と英語の両方を話せるなんて心から尊敬している。あなたの英語は、完璧だわ」と、拙い英語を話す私に、賞賛の言葉をかけてくれた。また、生徒の意見を最後まで聞こうという姿勢が感じられ、素晴らしい教授だった。テストに関しては、しっかり教科書を読んでいけば、7~8割程度は取れるぐらいの難易度だと感じた。グループプレゼンは、教授によって配属され、企業にインタビューをし、その内容について発表するものであった。全体的に、クラスの雰囲気も良く、良い授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際ビジネスの導入
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	SessionD(7/5~8/12)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Dan Himelstein
授業内容	国際ビジネスにおいて必要とされる知識を講義形式で学ぶ授業である。教科書の内容と教授の自身の経験を基に、授業が展開されている。授業内に 2 回ほどディスカッションがあり、直近のビジネス関連のニュースについて議論する。
試験・課題など	試験はないが、その代わりに、2 回のレポート提出がある。内容は、A4 で 3 枚ほどであり、ココ・コーラと Apple の CEO になりきって、今後の戦略について考えなさいというものであった。
感想を自由記入	この授業は、典型的な日本の講義という感じであった。教授が教科書の内容を話し、時々、生徒に意見を求めるという形であった。導入ということもあり、知っている内容が多く、理解しやすかった。授業内では、日本企業が良く登場してきて、親しみやすかった。しかし、自分自身で教科書を読めば理解できるため、他の授業を履修するのもいいと思った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Investments	投資学
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Ethan Namvar Ioannis Gkatzimas
授業内容	投資に必要な知識を講義形式で学ぶ授業であった。金融商品をどのように評価するかを重点的に学んでいった。具体的には、業界・企業分析から計算方法に至るまで、様々な手法を学んだ。それらの方法を用いて、実際の会社の株の価値を評価する課題にも取り組んでいった。授業後期の方では、仮想通貨やヘッジファンドなどの内容にまで触れた。
試験・課題など	ポキャブラリークイズと期末テストがあった。また、グループプロジェクトがあり、word12枚ほどのライティングを求められた。
感想を自由記入	この授業は、最後の課題が相当大変であった。私自身、金融関連の授業を履修したことが無かったため、人一倍、理解に時間がかかった。幸いなことに、グループプロジェクトであったため、お互いの得意分野で担い合い、なんとか期限内に終わらせることが出来た。教授は、質問に対して、すぐに答えてくれて、良かった。期末テストでは、授業内で扱ったスライドの内容から出題された。私は、個人投資に必要な知識を得るためにこの授業を履修したが、思いのほか、内容が難しく、苦労した。しかし、全体的に、役に立つ内容が多かったため、投資に興味がある人は履修することをお勧めする。ただし、試験範囲の量と課題の量が莫大で、ある程度の覚悟が必要だと思う。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 業界は、コンサルや商社を考えています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私の場合は、留学先での授業が忙しく、就職活動に充てる時間が無かった。3年生で渡航を考えている人は、渡航前に自己分析やガクチカなどの準備を進めておくといいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学の勉強。
	10月～12月	出願。
留学開始年	1月～3月	留学関連の諸々の準備。ビザの申請や滞在先の確保。
	4月～7月	航空券購入、渡航、中間・期末試験
	8月～9月	期末試験、帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は、大学生の間に、留学をしてみたいという漠然とした思いを持っていました。しかし、大学一年生からコロナウイルスの影響で渡航が中止となり、英語学習へのモチベーションの維持が難しかったように感じました。そんな中、私は、自身が楽しいと思える勉強方法(ニュースを英語で見たり、海外ドラマを見たり)で英語に触れていきました。そうすることで、大学三年生の夏まで、英語学習を飽きずに続けていけました。カリフォルニア大学バークレー校に渡航を決めた理由は、ビジネス系の学部が非常に優れている点とタイミングが良かったことの2点でした。バークレーには、Hassというビジネススクールがあり、サマーセッションでは好きな授業を自由に履修できるという点が魅力でした。タイミングに関しては、2022年の夏にちょうど渡航が再開になる見込みがあり、こしかないという勢いで応募しました。留学中は、予習と課題に追われる日々を過ごしていました。日本では、学校の授業後に、バイトや友達と遊ぶことが一般的だと思いますが、それらの大半が勉強に取って代わるという生活でした。後半の方では、予習の方法も自分の中で確立され、週末にクラスの友達と旅行に行ったりもできました。寮内でも、様々な人と触れ合える機会があるので、とても充実した3か月間でした。留学に対して少しでも興味を持っている人は、短期・長期に関わらず、海外に渡航することを強くお勧めします。全体を振り返ってみると、渡航前の準備が一番大変でしたが、一度現地に着いてしまえば、新しい出会いや新しい学びを得られる場が待っています。是非、留学に挑戦してみてください。また、何か相談がありましたら、気軽にご相談ください。